

資 料

広島お好み焼き関係年表

細 井 謙 一*

1. は じ め に

近年広島のお好み焼き産業に関する経営学的な研究が進んでいる（細井, 2021; 細井・金丸・竹村, 2022a; 2022b; 2023）。それは広島のお好み焼きが、広島のソウルフードだとされ、広島観光の顔として確固とした地場産業となっているからというだけではない。むしろ広島のお好み焼きという食文化は「創られた伝統（Hobsbawn and Ranger, 1983）」として、ビジネスの影響を大きく受けながら形成されたものであると考えられるからだ。ただその一方で、「マクドナルド化（Ritzer, 1996）」とは逆行すると考えられる側面も多く、食文化とビジネスの関係に関する定説と合致しない部分が多い。また、広島ではお好み焼き店が社会統合機能を持ち、地域コミュニティの核としての機能を持つと考えられ、経営学のオーソドックスな考え方は語り切れないユニークな問題がある（細井・金丸・竹村, 2022b; 2023）。さらには、食の基本原則とされる「共食（石毛, 1982）」がコロナ禍で脅かされたことから、これまでの成功モデルが逆機能化し大きな転換点を迎えたことなども、経営学的な注目を集めていることとの理由として挙げられるだろう（細井, 2021; 広島経済大学地域経済研究所, 2023）。

本年表は、このように注目されつつある広島のお好み焼き産業を経営学的に研究しようとする際の基礎資料として、作成したものである。

とはいえ、本年表は、一般に入手困難な情報が記載されているわけでも、完全なものでもない。本年表は、広島のお好み焼き産業の形成に多大な貢献をなしたオタフクソース株式会社が公表している資料やホームページなど、一般に公表されている情報を年代別に整理したものに過ぎない。

にもかかわらず、本年表をここに公刊することには、以下のような意義があると考えられる。

第一に、注目され始めた広島お好み焼き産業の研究の出発点としての意義である。当然のことであるが、特定の産業を研究する際、特に経営史ないし産業史として研究する際、その出発点として年表の整理は欠かせない。本年表作成の目的もそこにある。

第二に、お好み焼き産業に関する情報の整理が各方面で進み、必要な情報更新に備えるためである。言うまでもなく、史実発見は際限なく続く作業であるが、ある程度の整理が完了した段階で世に問うことが重要である。それによって、その年表の内容の真偽を検証するための議論が可能となる。

問題は世に問うタイミングであるが、今がまさにそのタイミングであると考えられる。それは、昨年あたりから、この産業に関する情報の更新が盛んにおこなわれているためである。まずこの産業研究の重要資料であるオタフクソース株式会社の社史が90周年誌（オタフクソース, 2011）から、100周年誌（オタフクソース, 2022）に更新されたことである。また、情報公開の流れに沿って、関係企業のホームページが

* 広島経済大学経営学部経営学科教授

相次いで整備され、各社の沿革に関する情報も整理され内容が更新されてきている。さらには、コロナ禍によって、多くの関連企業が転換点を迎え、この産業の在り方も大きく変わりつつあることである。本年表にはこうした新しい情報は盛り込まれていないが、逆に現時点での情報を整理し、確認しておくことで、将来更新された情報との比較が可能になり、情報が変わったことの意味を問うことも可能となる。

このような理由から、必ずしも最新の情報でも、完全な情報でもないにもかかわらず、現時点で明らかなことの確認し、今後の議論の活性化に資するため、本年表を公刊することとする。

2. 本年表について

本年表は、一般に公表された情報を、筆者が整理し、一覧表として整理したものである。主な出典と、年表中での略号は、付表のとおりである。

年表の整理にあたって、事項一つ一つに ID を付した。これは、今後の研究の効率化を考えたことである。ID があることによって、どの事項について議論しているのかを容易に特定

することができ、議論の無用なすれ違いを避けることができる。

事項 ID は、事項の発生年を基準に、同じ年に複数の事項がある場合には、原則として発生日付順にアルファベットを付して区別している。ただし、発生日が特定されていないものも多くあり、必ずしも事項 ID 順に事項が発生したというわけではない。事項の発生順も史実を考えるうえで大変重要な問題だが、その特定については今後の課題である。

また事項の整理のために、各事項をカテゴリーに分類している。カテゴリーは「お好み焼き、オタフクソース、オリバーソース、社会情勢、ソース、ハナキ、麺、その他」の8つである。これらカテゴリーはあくまで暫定的なもので、複数カテゴリーにまたがる事項も多い。

なお「お好み焼き」の表記については、原則として「焼き」と送り仮名を付している。しかし、オタフクソース株式会社では商品名や社内資料等で「お好み焼」と送り仮名のない表記を採用しており、この年表中でも、オタフクソースに関連した事項では送り仮名のない表記としている場合がある。

付表 年表の主な出典と年表中の略号一覧

略号	出 典
OTHP	オタフクソース株式会社ホームページ「沿革」(https://www.otafuku.co.jp/corporate/history/) (最終閲覧日：2023年4月23日)
OTFG	オタフクソース株式会社編 (2011)『ふくがたり：一滴一滴に、性根を入れて (第一版)』オタフクソース株式会社
OLHP	オリバーソース株式会社ホームページ「社史」(http://www.oliversauce.com/history.html) (最終閲覧日：2012年1月25日)
OKMW	wikipedia「お好み焼き」(http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%8A%E5%A5%BD%E3%81%BF%E6%9D%91) (最終閲覧日、2012年2月8日)
ISHP	磯野製麺株式会社ホームページ「会社概要」(http://www.isonoseimen.co.jp/introduction/) (最終閲覧日：2012年5月1日)
MSHP	升萬食品株式会社ホームページ「会社概要」(http://www.menya.com/greeting.html) (最終閲覧日：2012年5月1日)
HFHP	ヒマワリフーズ株式会社ホームページ「会社概要」(http://www.himawari-foods.jp/%E4%BC%9A%E7%A4%BE%E6%A6%82%E8%A6%81/) (最終閲覧日：2012年5月1日)
HNKHP	花木商会株式会社ホームページ「会社沿革」(http://www.kk-hanaki.co.jp/company_profile/category4_3.html) (最終閲覧日：2012年5月1日)

広島お好み焼き関係年表

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1840年頃	(天保11年頃)			1840a	ソース	ウスター市内で薬局を共同経営していたジョン・リーとウィリアム・ペインが、インドの総督から依頼されてソースを製造。試行錯誤の末「ウスターソース」誕生	OTFG	87
1867年	(明治元年)			1867a	その他	煙勇、明治初年迄、煙草の製造販売を営業内容とし、商号を煙勇と称した	煙勇 HP	
1879年	(明治12年)			1879a	その他	煙勇、醤油の卸売業を併営	煙勇 HP	
1889年	(明治22年)			1989a	社会情勢	広島市、市制施行	OTFG	36
1895年	(明治28年)	12	25	1895a	オタフクソース	後のオタフクソース創業者佐々木清一（旧姓品川清一）、広島県安佐郡安村（現・広島市安佐南区安古市）に生まれる	OTFG	19
1902年	(明治35年)			1902a	オタフクソース	佐々木常太郎・ミネ夫妻（清一の妻ハヤの両親）、ハヤをミネの実家に預けて、一年契約の移民としてハワイへ	OTFG	11
1903年	(明治36年)			1903a	オタフクソース	佐々木常太郎・ミネ夫妻（清一の妻ハヤの両親）、オレゴン州ポートランドへ	OTFG	11
				1903b	社会情勢	横川を起点に、日本初の乗り合いバスが運行開始	OTFG	36
1907年	(明治40年)			1907a	その他	煙勇、酒類を併売すると共にキッコーマンを始め醤油大手4社と特約契約をし地場随一の調味料専門商社として創業	煙勇 HP	
1912年	(大正1年)			1912a	社会情勢	広島市に路面電車開通、中島本町界隈から、停留所のある紙屋町や八丁堀、広島駅前、宇品海岸通りなどが新たな盛り場としてにぎわい始める	OTFG	26
1914年	(大正3年)	7	28	1914a	社会情勢	第一次世界大戦勃発（1918年11月11日まで）	OTFG	26
1915年	(大正4年)			1915a	オタフクソース	佐々木常太郎、米市民権獲得	OTFG	13
				1915b	オタフクソース	佐々木常太郎、14歳になったハヤをアメリカに呼び寄せる	OTFG	13
1918年	(大正7年)	11	11	1918a	社会情勢	第一次世界大戦終結、経済発展、洋風化	OTFG	27
1921年	(大正10年)			1921a	社会情勢	広島市に新天地誕生。映画館や外食の店ができる映画や外食など、庶民の日常に娯楽の概念が定着	OTFG	27
1922年	(大正11年)	1	15	1922a	オタフクソース	品川清一、佐々木ハヤと結婚。婿に入り佐々木姓となる	OTFG	14
		11		1922b	オタフクソース	佐々木清一とハヤの間に、長男清誕生	OTFG	14
		11		1922c	オタフクソース	佐々木清一によって広島市横川町3丁目において、酒、醤油類の卸小売業「佐々木商店」創始	OTFG	8, 14, 220
1923年	(大正12年)	3		1923a	オリバーソース	神戸に「道満調味料研究所（オリバーソースの前身）」設立 道満清、所長就任	OLHP	
		3		1923b	オリバーソース	道満調味料研究所、各種英国産ウスターソース配布 自社製ソース製造開始	OLHP	
		9	1	1923c	社会情勢	関東大震災	OTFG	27
1927年	(昭和2年)			1927a	オタフクソース	品川缶詰工場倒産。連帯保証人の佐々木清一も窮地に	OTFG	28
		7		1927b	オリバーソース	道満調味料研究所、自社製国産ウスターソースを神戸外国人居留地市場へ投入	OLHP	
1928年	(昭和3年)	3	7	1928a	オタフクソース	佐々木清一の三男、勉誕生	OTFG	32
1929年	(昭和4年)	4		1929a	麺	堀冶三、大阪にて製麺業創業（後の升萬食品）	MSHP	
1930年	(昭和5年)			1930a	オタフクソース	オタフクソース、調合した酒『水都花（すいとばな）』を発売	OTFG	31, 220
		10	13	1930b	オタフクソース	佐々木清一の四男、繁明誕生	OTFG	32
1931年	(昭和6年)	9	18	1931a	社会情勢	満州事変勃発	OTFG	37
1933年	(昭和8年)	3	26	1933a	オタフクソース	佐々木清一の五男、照雄誕生。ハヤが妊娠中に電車事故にあったにもかかわらず、無事出産	OTFG	32, 35
1935年	(昭和10年)	9	1	1935a	オタフクソース	佐々木清一の長女（第6子）、泰子（ひろこ）誕生	OTFG	32, 36
1936年	(昭和11年)	4		1936a	オリバーソース	道満調味料研究所、業務用「別製ソース」発売、「どろソース」配布	OLHP	

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1936年	(昭和11年)	4		1936b	オリバーソース	道満調味料研究所、兵庫工場操業開始	OLHP	
1937年	(昭和12年)	7	7	1937a	社会情勢	盧溝橋事件を機に、日中戦争勃発。軍都広島活気づく	OTFG	37
				1937b	社会情勢	広島市基町に兵站司令部が設けられた。宇品港は兵站輸送基地となり、食料品製造は地元の責務とされた	OTFG	37
		9		1937c	社会情勢	国民精神総動員法	OTFG	50
				1937d	ソース	日本のソース生産量、戦前のピーク	OTFG	129
1938年	(昭和13年)	4		1938a	オタフクソース	佐々木商店、醸造酢の製造を開始	OTFG	37, 42, 220
		4	1	1938b	社会情勢	国家総動員法制定	OTFG	50
1939年	(昭和14年)	4	12	1939a	社会情勢	米穀配給統制法公布（昭和17年2月21日食糧管理法施行とともに廃止）	OTFG	50
		8	3	1939b	オタフクソース	佐々木清一の六男（第7子）、尉文（やすふみ）誕生	OTFG	32
		10		1939c	社会情勢	米穀配給統制法に基づき、広島市でも米の配給制度が開始される	OTFG	50
1941年	(昭和16年)	4		1941a	社会情勢	全国の小学校、国民学校と改称	OTFG	53
		12	8	1941b	社会情勢	太平洋戦争勃発	OTFG	55
1945年	(昭和20年)	3		1945a	オリバーソース	道満調味料研究所、空襲にて工場全焼。疎開先の兵庫区須佐野通にて業務再開	OLHP	
		8	6	1945b	オタフクソース	原爆投下により、佐々木商店、全焼	OTFG	56, 220
		8	15	1945c	社会情勢	太平洋戦争、終戦	OTFG	63
		8	28	1945d	社会情勢	テンチ米陸軍大佐以下150名が横浜に初上陸し、連合国軍本部を設置	OTFG	65
		8	30	1945e	社会情勢	マッカーサー、厚木飛行場に降り立つ。横浜税関の建物を接収して太平洋陸軍総司令部（AFPAC）を設置	OTFG	65
		9	2	1945f	社会情勢	日本政府が戦艦ミズーリで降伏文書調印が行われ、GHQ 指令第一号（陸海軍解体、軍需生産の全面停止等）が出る	OTFG	65
		9	8	1945g	社会情勢	連合国軍、東京を占領する	OTFG	65
		9	13	1945h	オタフクソース	北海道に出征中だった、佐々木稔（二男）、復員	OTFG	65
		9	14	1945i	オタフクソース	佐々木稔、三篠町の借家で家族と再会。佐々木家全員が揃う	OTFG	66
1946年	(昭和21年)	1		1946a	オタフクソース	佐々木家、横川に「マルキ食堂」開店	OTFG	67
		春		1946b	オタフクソース	佐々木家、広島市祇園町長束の酒造蔵（吉村酒造）を借り受け、醸造酢の製造を再開	OTFG	68, 220
		夏		1946c	オタフクソース	吉村酒造に泥棒が入ったのをきっかけに、居候の元兵士が出ていき、佐々木家が正式に使うことに	OTFG	70
		夏		1946d	オタフクソース	マルキ食堂、吉村酒造の倉庫で保管していた砂糖を分けてもらえることになり、アイスクリームを発売。飛ぶように売れる	OTFG	70
		夏		1946e	オタフクソース	佐々木家、横川のマルキ食堂での酒と醤油の商いは清（24歳）と稔（21歳）に任せ、清一は長束の佐々木商店での酢の製造販売に専念	OTFG	70
		秋		1946f	オタフクソース	吉村酒造の酒蔵は佐々木商店の酢蔵にかわり、酢の仕込が順調に進む	OTFG	71
		11	3	1946g	社会情勢	日本国憲法公布	OTFG	84
		11	30	1946h	社会情勢	第一回ララ物資横浜に到着		
		12	5	1946i	オタフクソース	佐々木清一の妻ハヤ、フグの毒にあたり逝去	OTFG	76
		12	15	1946j	オタフクソース	佐々木清一の二男稔、しげ子と結婚	OTFG	77
		12		1946k	麺	ひまわりフーズの前身、口位製麺所創業	HFHP	
				1946l	お好み焼き	広島駅前に、一銭洋食の屋台が再開	OTFG	80
		暮れ		1946m	社会情勢	広島市内の闇市（広島駅前、横川、己斐、天満橋、宇品など）が、警察の取り締まりによって撤去される	OTFG	84

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1947年	(昭和22年)			1947a	社会情勢	闇市に代わって「マーケット」と呼ばれる公設市場が登場	OTFG	84
				1947b	お好み焼き	広島市内の公設市場に、戦前の「一銭洋食のようなもの」をつくる店や屋台が表れ始める	OTFG	84
		3		1947c	オタフクソース	佐々木商店、醸造酒の出荷開始	OTFG	78, 220
		3		1947d	オタフクソース	佐々木家、広島調味食品（清）で醤油と酢の製造販売、横川の佐々木酒店（稔）が酒の販売、佐々木商店（清一）が総括という体制に。マルキ食堂は清一の妻ツキミ	OTFG	78
		5	3	1947e	社会情勢	日本国憲法施行	OTFG	84
		5		1947f	オタフクソース	佐々木清一、ミツヨと結婚	OTFG	79
		5		1947g	オリバーソース	道満調味料研究所、再び兵庫区松本通3丁目に工場を移転、モウリス版木ラベル使用開始	OLHP	
		5		1947h	オリバーソース	道満調味料研究所、「道満食品工業株式会社」に社名変更。道満俊彦、社長就任	OLHP	
		8	6	1947i	社会情勢	広島市で、第一回平和祈念式典	OTFG	85
1948年	(昭和23年)			1948a	社会情勢	戦時中から続いていた食料の配給制度が次々撤廃	OTFG	85
		1		1948b	オリバーソース	道満食品工業、オリバーとんかつソースを発売。日本で初めてのとろみのあるソース（フルーツソース）。（オリバー HP には「世界初」の表記あり）	OTFG	104
		1		1948c	オリバーソース	道満食品工業、関西にてお好み焼やたこ焼に濃厚ソースを使用する食文化が開花	OLHP	
		2		1948d	オタフクソース	佐々木清の妻・ツキミ逝去	OTFG	85
1949年	(昭和24年)			1949a	オタフクソース	マルキ食堂、ツキミの逝去に伴い閉店。佐々木酒店は酒屋専業に	OTFG	87
				1949b	オタフクソース	マルキ食堂閉店に伴い、佐々木勉、繁明、照雄の三人は長東に移り、清一と暮らすことに	OTFG	87
		4		1949c	オタフクソース	佐々木繁明、佐々木商店に正式に奉公	OTFG	86
				1949d	オタフクソース	佐々木繁明、統制撤廃で調味料販売が可能になった八百屋に営業開始（おたふくの名称ゆえに恥ずかしい思いをすることがしばしばあった）	OTFG	87
				1949e	オタフクソース	佐々木商店、繁明の提案でソース製造を検討するも、実現せず。市場の問題、特に先発メーカーが多いこと、フルーツソース（果実を主原料としたソースで、のちに「とんかつソース」や「濃厚ソース」と呼ばれるようになる）の登場で販売競争が激化してきていることや、販路の問題（既存メーカーによる卸の系列化が進んでいること）が反対の主因	OTFG	93
				1949f	オタフクソース	佐々木繁明、醸造器具を販売していた尼子三郎氏の助言によりソースの開発に着手。周囲の反対は解けぬまま	OTFG	94, 220
				1949g	ソース	ソース業界でのフルーツソースの生産量・消費量が急増し、ソース販売量の40%を占めるに至る	OTFG	105
		6		1949h	麺	広島で石原巖（後の升萬製麺社長で同じく後の社長の堀幸三郎の父）製麺再開	MSHP	
1950年	(昭和25年)	5		1950a	麺	升萬製麺、現在の所在地（広島市西区中広町）にて営業開始	MSHP	
		10		1950b	オタフクソース	佐々木商店、ウスターソースの製造・販売を開始	OTFG	97, 220
				1950c	お好み焼き	拡幅なった中央通り沿いに、数件のお好み焼きの屋台が登場	OTFG	97
				1950d	お好み焼き	かつての一銭洋食が進化した食べ物は、このころから「お好み焼き」と呼ばれるようになっていた	OTFG	98
				1950e	お好み焼き	お好み焼きの主な具材が、ネギからキャベツに変化。ただし、肉、卵は高価なためよっぽどのがなければ入れることはなかった。そばやうどんはまだ入れられることはなかった	OTFG	98
				1950f	お好み焼き	中央通りだけでなく、隣接する新天地広場などの繁華街に、お好み焼きの店や屋台が続々と増えていった	OTFG	98

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1950年	(昭和25年)			1950g	お好み焼き	現在のみっちゃん総本店、「美笠屋」の名前で、中央通りにお好み焼屋（屋台）を創業。後に東新天地公共広場（現在の広島市中区新天地）に移転。病弱な父に代わって19歳の『みっちゃん』が営業。創業当時は、生地にネギとわずかな野菜をのせて焼いた「おやつ感覚」のものでした	MCHP	
1951年	(昭和26年)	暮れ		1951a	オタフクソース	佐々木商店、ウスターソースに加え、とんかつソースの販売を始める。しかし、相変わらずソースはあまり売れなかった	OTFG	100
		暮れ		1951b	オタフクソース	佐々木商店、市内の大衆食堂やお好み焼きの店舗や屋台に、直接ソースを売り込む営業活動を開始	OTFG	101
		暮れ		1951c	オタフクソース	佐々木商店、お好み焼き店の要望を入れ、お好み焼専用ソースの開発に着手	OTFG	102
		暮れ		1951d	オタフクソース	佐々木照雄、ソース作りを手伝い始める	OTFG	102
		暮れ		1951e	オタフクソース	佐々木商店、ミツヨの手料理がきっかけで、オリの利用を思いつく	OTFG	103
1952年	(昭和27年)			1952a	オタフクソース	佐々木商店、広島市大芝町へ工場を移転	OTHP	220
		10	17	1952b	オタフクソース	佐々木商店、お多福造酢株式会社を設立	OTFG	116, 220
		10		1952c	オタフクソース	お多福造酢、初代社長に佐々木清一就任	OTFG	220
				1952d	オタフクソース	お多福造酢、新製品「お好み焼用」ソース発売。「お多福ウスターソースお好み焼用」	OTFG	107, 221
				1952e	お好み焼き	住宅街にも、小さなお好み焼き店が現れる。原爆で焼け残った字品や段原など	OTFG	110
				1952f	ハナキ	広島市南区皆実町にて創業者花木久男が果物、菓子類販売の花木商店を開業	OTFG	110
				1952g	オタフクソース	佐々木繁明、花木と知り合う	OTFG	111
				1952h	オタフクソース	佐々木繁明、煙勇商店の基丸貢と知り合う	OTFG	114
				1952i	お好み焼き	この頃、鉄板でヘラで食べるスタイルが登場	MCHP	
1953年	(昭和28年)			1953a	オタフクソース	佐々木照雄、崇徳高校を卒業し、お多福造酢に入社	OTFG	117
				1953b	ハナキ	花木商店、飲料水・お好み焼ソース（オタフクソース）の販売卸業も始める	HNKHP	
				1953c	お好み焼き	みっちゃん、店名を「美笠屋」から『みっちゃん』に変更	MCHP	
1955年	(昭和30年)			1955a	オタフクソース	お多福造酢、新製品「全糖寿司酢」発売	OTFG	119, 221
				1955b	オタフクソース	お多福造酢、新製品「全糖らっきょう酢」発売	OTFG	128, 221
1956年	(昭和31年)	3	21	1956a	社会情勢	広島でテレビ放送開始（東京に遅れること3年）	OTFG	124
				1956b	ソース	ソース生産量、戦前のピーク（昭和12年）を超える（それでもしょうゆ生産量の1割にも満たない）	OTFG	129
1957年	(昭和32年)	7	24	1957a	社会情勢	広島市民球場にて、初のプロ野球公式戦が行われ、広島カープは1対15で阪神タイガースに大敗	OTFG	129
				1957b	お好み焼き	お好み屋台村、東新天地広場から、西新天地広場へ移転。お好み焼きだけでなく、もつ焼きや中華そばなどの店も含めて約50店舗	OTFG	130
				1957c	オタフクソース	一般消費者から飲食店への「オタフクソースお好み焼用」への注文が急増	OTFG	130
				1957d	オタフクソース	お多福造酢、家庭用二合瓶の『お好みソース』発売	OTFG	130, 221
1958年	(昭和33年)	4		1958a	オタフクソース	佐々木尉文、舟入高校を卒業し、お多福造酢に入社	OTFG	133
		7		1958b	社会情勢	岩戸景気（1958年7月から1961年12月まで42カ月）	OTFG	134
				1958c	社会情勢	広島市「大広島計画」を策定。その基本構想の一つとして商工センターの開発が盛り込まれる	OTFG	159
1959年	(昭和34年)	4	10	1959a	社会情勢	皇太子ご成婚（のちの昭和天皇と同皇后）、ミッチーブーム	OTFG	133

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1959年	(昭和34年)			1959b	社会情勢	全国各地に駅ビルや地下街、名店街がつくられるようになる。百貨店の地下に食料品売り場や食堂街がお目見え	OTFG	134
				1959c	社会情勢	ソース焼きそばが、デパートの地下の名店街の人気商品に	OTFG	134
				1959d	オリバーソース	道満食品工業、プラスチック（塩化ビニール）容器へのソース充填に成功。業界に先駆けて濃厚ソースの弱点である「出にくさ」を克服して発売（登録第317036号）	OLHP	
				1959e	ハナキ	花木商店、広島市中区千田町 1 丁目に事業所を移し、花木商会と改め、シロップ・お好みソースの専門販売業として発足する	HNKHP	
1960年	(昭和35年)			1960a	オタフクソース	お多福造酢、社員数27人	OTFG	136
				1960b	オタフクソース	お多福造酢、新製品「焼そばソース」発売	OTFG	137, 221
				1960c	オタフクソース	お多福造酢、新製品「ぼん酢」発売	OTHP	221
				1960d	オタフクソース	お多福造酢、新製品「ケチャップ」発売	OTHP	221
				1960e	オタフクソース	お多福造酢、昭和30年代後半から40年代にかけては、広島県内の開拓を目標とする（方針決定年代不明）	OTFG	158
1962年	(昭和37年)	4		1962a	麺	磯野製麺創業	ISHP	
		11		1962b	オタフクソース	お多福造酢、福山営業所開設、初代所長佐々木尉文。11月 4 日に結婚したばかりの妻の道子が事務担当	OTFG	138, 221
1963年	(昭和38年)	1	3	1963a	オタフクソース	佐々木清一、郷里・安村の田中山神社にて、幼馴染の三沢三千彦に会う。「お多福の心」を描いた絵を依頼	OTFG	141
		2		1963b	オタフクソース	三沢三千彦の手になる「お多福」の絵が完成、大芝のお多福造酢に届く。この絵が後に「お多福マーク」の原画となる	OTFG	142
1964年	(昭和39年)			1964a	オタフクソース	お多福造酢、新製品「たこ焼ソース」発売	OTFG	138, 221
1965年	(昭和40年)	12		1965a	お好み焼き	西新天地公園の整備に伴い、屋台は立ち退き。みっちゃん、麗ちゃん、善さん、へんくつやは独自で移転先を見つけたが、それ以外の移転先の見つからなかった14店舗がお好み村を構成。発案者は初代村長になり「ちいちゃん」の古田正三郎と地元の食品卸問屋の住田一也	OKMW	
				1965b	お好み焼き	みっちゃん、広島駅に最初の店舗を出店。屋台から「店舗」の時代に。広島市の条例により、屋台が立ち退きに。広島駅ビルに『みっちゃん』最初の店舗を出店。あまりのお客さんの多さに、大阪までキャベツ切りの機械を買いに行ったほど。（「現在は、職人を育てるために手で切っています」と注記アリ）	MCHP	
1966年	(昭和41年)			1966a	オタフクソース	お多福造酢、中小企業庁より全国優良中小企業として表彰	OTFG	143, 221
				1966b	オタフクソース	佐々木照雄、食品試験場の夜間講座の第一期生として食品の基礎を学ぶ	OTFG	149
		7		1966c	麺	磯野製麺設立	ISHP	
		9		1966d	オリバーソース	道満食品工業、オリバーソース株式会社に社名変更	OLHP	
		冬		1966e	オタフクソース	白石俊明、お多福造酢入社（醤油会社から転職、当時21歳）	OTFG	149
		冬		1966f	オタフクソース	佐々木照雄と白石が、食品試験場で学んだ知識を生かし、工場内に分析室を設け、科学的な分析を開始	OTFG	150
1967年	(昭和42年)			1967a	お好み焼き	食品卸問屋の住田が、西新天地広場の対面側の土地にプレハブ風の 2 階建て、延べ床面積260平方メートルの簡単鉄骨構造の建物を建てて、お好み村が復活（当時は14店舗）	OKMW	
1968年	(昭和43年)	9		1968a	オリバーソース	オリバーソースお好み焼専用ソース「オリバーお好み焼ソース 1L」発売	OLHP	
				1968b	お好み焼き	みっちゃん総本店の 1 号店を八丁堀に開店開店と同時に大人気となった総本店。開閉し過ぎでよく壊れていた「引き戸」を「自動ドア」に替えることに	MCHP	
1969年	(昭和44年)			1969a	オタフクソース	お多福造酢、チクロ問題が勃発し、回収、交換に追われる	OTFG	145, 221

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1969年	(昭和44年)			1969b	オタフクソース	お多福造酢, チクロだけでなく、人工甘味料を一切使わない全商品の「全糖化」を決定	OTFG	145
				1969c	麺	升萬製麺有限公司設立	MSHP	
		9	13	1969d	オタフクソース	お多福造酢, 創業社長・清一逝去(享年74歳)	OTFG	147, 221
		10		1969e	オタフクソース	お多福造酢, 大芝工場の増設工事完了。鉄筋2階建て、延べ床面積190坪	OTFG	149
		11		1969f	オタフクソース	佐々木勉, お多福造酢2代目社長に就任	OTFG	149, 221
		11		1969g	オタフクソース	佐々木繁明が専務取締役、照雄が常務取締役工場長に昇格。福山営業所長の尉文も取締役に就任	OTFG	149
1971年	(昭和46年)	4		1971a	オタフクソース	お多福造酢, 呉出張所開設(のちに営業所)	OTFG	222
				1971b	社会情勢	昭和33年策定の「大広島計画」に基づいて、西部開発事業(現在の商工センター)の埋め立て工事がスタート	OTFG	159, 222
1972年	(昭和47年)			1972a	ハナキ	株式会社ハナキ商会設立。法人になる。代表取締役社長 花木久男就任。広島市中区東千田町2丁目に事業所を移し、事務所及び倉庫を建てる。資本金300万円	HNKHP	
1974年	(昭和49年)	6		1974a	オタフクソース	佐々木繁明, ソース工業会の欧州視察に参加し、リー&ベリン社でデーツと出会う	OTFG	152, 222
1975年	(昭和50年)			1975a	オタフクソース	デーツ使用開始	OTFG	154, 222
		3	10	1975b	社会情勢	山陽新幹線, 岡山-博多間開業	OTFG	166
				1975c	オタフクソース	山陽新幹線, 全線開業を機に、広島駅のキヨスクにもオタフクソースを置かせてもらう。お土産物として、関東や関西へも少しずつ浸透	OTFG	167
		7		1975d	オタフクソース	JAS マーク製品が市場にお目見え(制度の制定は前年)。オタフクソースは、JAS 製品に認定されなかったが、低塩低酸にこだわりあえて規格外路線をとる	OTFG	157
		10	20	1975e	社会情勢	広島カープ, 初優勝平和大通りで優勝パレード	OTFG	154
		12		1975f	オタフクソース	お多福造酢, オタフクソース株式会社に社名を変更	OTFG	155, 222
				1975g	ソース	昭和50年代初頭, ソース出荷量が大きく後退。生産実績が十数年前の水準に退潮。しかも業界シェアの70%を上位5社が占めるという寡占状態で、オタフクソースは直販ルート拡大を図るほかなかった	OTFG	157
				1975h	オタフクソース	オタフクソース, 昭和50年代は、中四国で一番を目指すことを目標とした。(方針決定の正確な年代は不明)	OTFG	158
1976年	(昭和51年)	1		1976a	オリバーソース	オリバーソース, 量販店向けに家庭用プラスチック容器詰め「オリバーお好み焼ソース500」「オリバー焼そばソース500」発売	OLHP	
		6		1976b	麺	升萬製麺, 現所在地(広島市西区中広町3-9-10)に本社ビルを建築	MSHP	
		10		1976c	オタフクソース	オタフクソース, 第25期スタート。社員数87名	OTFG	156
		12		1976d	オリバーソース	オリバーソース, お好み焼・焼きそばソース テレビコマーシャル開始, タレントに吉本新喜劇「原哲男」氏 起用(21年間イメージキャラクターとして継続)	OLHP	
1977年	(昭和52年)	4		1977a	オタフクソース	オタフクソース, 松山営業所開設	OTFG	168, 222
1978年	(昭和53年)	4		1978a	オリバーソース	オリバーソース, 「オリバー焼そばソース 1.8L」業務用発売	OLHP	
		6		1978b	オタフクソース	オタフクソース, 広島市食品工業団地組合に加盟	OTFG	222
		6		1978c	オタフクソース	オタフクソース, 広島市西区商工センターに本社工場完工, 引き渡し	OTFG	161, 222

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1978年	(昭和53年)	9		1978d	オタフクソース	オタフクソース、広島市西区商工センターに本社工場落成、稼働開始	OTFG	161, 222
		9		1978e	オタフクソース	オタフクソース、お好みソースの原料を煮炊きする際のプレートヒーターの導入。内容物の発酵による飛散がなくなり、「爆弾ソース」の別称から脱却	OTFG	161
		9		1978f	オタフクソース	オタフクソース、業界に先駆け紙容器にソースを詰めて販売	OTFG	162, 222
		10		1978g	麺	ひまわりフーズの前身、口位製麺株式会社、設立	HFHP	
1979年	(昭和54年)	11		1979a	オタフクソース	佐々木繁明、オタフクソース 3 代目社長に就任	OTFG	162, 222
1980年	(昭和55年)			1980a	オタフクソース	佐々木尉文、スクイズボトルの開発を構想	OTFG	163
1981年	(昭和56年)	11		1981a	オタフクソース	オタフクソース、山口営業所開設	OTFG	168, 222
				1981b	オタフクソース	オタフクソース、高松駐在所開設	OTFG	168
1982年	(昭和57年)			1982a	オタフクソース	オタフクソース、業界に先駆けてお好みソース 500 g フクボトル発売	OTFG	164, 222
				1982b	オタフクソース	佐々木茂喜、広島修道大学商学部を卒業し、オタフクソースに入社	OTFG	187
				1982c	ハナキ	花木商会、広島市中区千田町 3 丁目に事業所を移転。事務所及び倉庫 3 階建新社屋を建設	HNKHP	
				1982d	ハナキ	花木商会、有限会社ニシモトより、割箸・包装資材卸売業の事業を引受け、現住所（広島市中区千田町 3 丁目）に移転。代表取締役任に花木久男就任	HNKHP	
		4		1982e	オタフクソース	オタフクソース、福岡駐在所開設	OTFG	168, 223
		5		1982f	オタフクソース	オタフクソース、広島東営業所開設	OTFG	223
		6		1982g	オタフクソース	オタフクソース、西条営業所開設	OTFG	223
		6		1982h	オタフクソース	オタフクソース、岡山営業所開設	OTFG	168, 223
1983年	(昭和58年)	8		1983a	オタフクソース	オタフクソース、大阪駐在所開設	OTFG	223
1984年	(昭和59年)	2		1984a	オタフクソース	オタフクソース、二代目社長・勉強去（享年56歳）	OTFG	168, 223
		5		1984b	オタフクソース	オタフクソース、東京駐在所開設	OTFG	168, 224
		9		1984c	オタフクソース	オタフクソース、広島東営業所・広島営業所に統合	OTFG	224
1986年	(昭和61年)	7		1986a	オタフクソース	オタフクソース、「お好みフーズ株式会社」を設立（社長・佐々木尉文）	OTFG	170, 224
				1986b	オタフクソース	お好みフーズ株式会社、冷凍お好み焼を発売	OTFG	170
				1986c	ハナキ	株式会社ハナキ商会、増資により資本金730万円	HNKHP	
				1986d	ハナキ	花木商会、広島流お好み焼用ミックス粉の商品化に成功しNHKの全国放映で取り上げられて、これを機に記念発売を行う	HNKHP	
		10		1986e	オタフクソース	オタフクソース、東京駐在所を営業所に移行	OTFG	171, 224
		10		1986f	オタフクソース	オタフクソース、大阪営業所開設	OTFG	224
		10		1986g	オタフクソース	オタフクソース、高松営業所開設	OTFG	224
1987年	(昭和62年)	1		1987a	オリバーソース	オリバーソース、冷凍食品業界に参入	OLHP	
		10		1987b	オタフクソース	オタフクソース、東京営業所を支店に昇格	OTFG	171, 224
				1987c	オタフクソース	オタフクソース、東京支店に、お好み焼研修センター開設	OTFG	171
		10		1987d	オタフクソース	オタフクソース、大阪営業所を支店に昇格	OTFG	171, 224

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1987年	(昭和62年)	10		1987e	オタフクソース	オタフクソース, 福岡営業所開設	OTFG	224
		10		1987f	オタフクソース	オタフクソース, 名古屋駐在所開設	OTFG	224
		12		1987g	オタフクソース	オタフクソース, 東京・お好み焼研修センター開設	OTFG	225
				1987h	お好み焼き	みっちゃん総本店を現在の場所(広島市中区八丁堀)に移転。このころ, 福屋八丁堀店も開店	MCHP	
1988年	(昭和63年)	4		1988a	麺	ひまわりフーズの前身, 口位製麺, 廿日市市串戸へ工場新築移転創業	HFHP	
		9	1	1988b	オタフクソース	オタフクソース, 創業65年記念誌『オコロジー(お好み焼学)』刊行	OTFG	183
		10		1988c	オタフクソース	オタフクソース, 広島支店開設	OTFG	225
		10		1988d	オタフクソース	オタフクソース, 焼そばソース3倍作戦。3年計画だったが, 4年で目標達成	OTFG	192
		10		1988e	オタフクソース	オタフクソース, 四国支店開設	OTFG	225
1990年	(平成2年)	9		1990a	オタフクソース	オタフクソース, 大和工場完成	OTFG	172, 225
		10		1990b	お好み焼き	お好み村の家主の住田が, 隣接する駐車場の地主と共同で「新お好み村」の建設を発表	OKMW	
		10		1990c	麺	株式会社ひまわりフーズ設立	HFHP	
		11		1990d	お好み焼き	お好み村, 建て替えのため一時閉鎖。中町の駐車場に作られた飯店舗での営業になる	OKMW	
1991年	(平成3年)	1	17	1991a	社会情勢	湾岸戦争勃発, デーツ注目される	OTFG	175, 225
		4		1991b	オリバーソース	オリバーソース, 道満雅彦, 社長就任	OLHP	
		4		1991c	オタフクソース	オタフクソース, 大和工場造酢専用工場として完成・稼働	OTFG	225
		9		1991d	オタフクソース	オタフクソース, 呉・西條営業所, 広島営業所に統合	OTFG	225
		10		1991e	オタフクソース	オタフクソース, 広島支店が中国支店に	OTFG	225
		10		1991f	オタフクソース	オタフクソース, 神戸営業所開設	OTFG	225
		11		1991g	オタフクソース	オタフクソース, 名古屋営業所開設	OTFG	225
1992年	(平成4年)			1992a	ハナキ	花木商会, 広島商工会議所より創業40周年優良企業表彰並びにオタフクソース株式会社より創業40周年の感謝状を受ける	HNKHP	
		1		1992b	お好み焼き	お好み村, 新施設(新天地ブラザと呼ばれる複合ビル)完成。鉄筋コンクリート7階建て, 延べ床面積2,263平方メートル。お好み村の床面積は1,000平方メートルで27店舗。(一階には, お好み焼き以外の飲食店)	OKMW	
		5		1992c	オタフクソース	オタフクソース, 本社工場高層化第一期工事完成	OTFG	225
		10		1992d	オタフクソース	オタフクソース, 九州支店開設	OTFG	225
1993年	(平成5年)	3		1993a	オリバーソース	オリバーソース, 家庭用「どろソース」及び「クライマックスソース」発売	OLHP	
		4		1993b	オタフクソース	オタフクソース, 本社工場高層化第二期工事完成	OTFG	225
				1993c	オタフクソース	オタフクソース, 『ヤキソバロジー(焼そば学)』刊行	OTFG	183
1994年	(平成6年)	5		1994a	オタフクソース	オタフクソース, 本社工場高層化第三期工事完成	OTFG	179, 225
		9		1994b	オタフクソース	オタフクソース, 消費者志向優良企業として通産大臣賞を受賞	OTFG	226
				1994c	オタフクソース	オタフクソース, 1994年9月期決算で念願の売上高100億円突破(108億3,600万円)	OTFG	179
		10		1994d	オタフクソース	オタフクソース, 札幌支店開設	OTFG	226
		11		1994e	オタフクソース	佐々木照雄, オタフクソース4代目社長に就任	OTFG	180, 226
		11		1994f	オタフクソース	佐々木繁明, オタフクソース会長に就任	OTFG	226

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1994年	(平成 6 年)	11		1994g	オタフクソース	オタフクソース, 第16回食品産業優良企業等表彰で農林水産大臣賞(食品産業部門)を受賞	OTFG	180, 226
1995年	(平成 7 年)			1995a	ハナキ	株式会社ハナキ商会並びに有限会社ニシモトと共に合併し, 新たに株式会社ハナキ設立, 資本金1,000万円とする。代表取締役社長 花木耕一就任。	HNKHP	
		1	17	1995b	社会情勢	阪神・淡路大震災		
		1	17	1995c	オリバーソース	オリバーソース, 阪神・淡路大震災にて本社社屋全焼, 工場半壊4ヶ月間操業不能におちいる	OLHP	
		3		1995d	オタフクソース	オタフクソース, 大和工場が緑化モデル工場として広島県知事賞受賞	OTFG	226
		5		1995e	オリバーソース	オリバーソース被災地跡にプレハブ仮本社事務所及び仮倉庫完成, 事業再開	OLHP	
		9	16	1995f	オタフクソース	オタフクソース, 第1回オタフク大和祭(9月16日, 17日の二日間)	OTFG	181
		10		1995g	オタフクソース	オタフクソース, 南大阪営業所開設	OTFG	226
		10		1995h	オタフクソース	オタフクソース, 京都営業所開設	OTFG	226
				1995i	お好み焼き	みっちゃん, チルドお好み焼「みっちゃんチルド」発売	MCHP	
1996年	(平成 8 年)	3		1996a	オリバーソース	オリバーソース, 資本金9,960万円に増資, 神戸ポートアイランドに新工場用地取得, 建設に着手	OLHP	
				1996b	オタフクソース	オタフクソース, 大和工場, 食酢製造ラインの機械を増設	OTFG	182
		10		1996c	オタフクソース	オタフクソース, 横浜営業所開設	OTFG	226
		10		1996d	オタフクソース	オタフクソース, 南九州営業所開設	OTFG	226
1997年	(平成 9 年)	7		1997a	オリバーソース	オリバーソース, 工場完成と共に移転	OLHP	
		7		1997b	オリバーソース	オリバーソース, 全製品のキャップ・容器・ラベルを刷新	OLHP	
		7		1997c	オリバーソース	オリバーソース, 業界初の HACCP 対応新工場を「ソース夢工房」と名付けて稼働	OLHP	
		10		1997d	オリバーソース	オリバーソース, 創立75周年, 新工場告知キャンペーン実施(イメージキャラクター「桑名正博」起用)	OLHP	
		10		1997e	オタフクソース	七福株式会社設立。初代社長, 佐々木泰平(繁明の二男)	OTFG	182, 226
		10		1997f	オタフクソース	オタフクソース, 神奈川営業所開設	OTFG	227
		10		1997g	オタフクソース	オタフクソース, 食品衛生優良施設として厚生大臣表彰	OTFG	227
		10	25	1997h	オタフクソース	オタフクソース創業75周年	OTFG	183, 227
		10		1997i	オタフクソース	オタフクソース, お好み焼シンポジウム開催	OTFG	183, 227
1998年	(平成10年)	1		1998a	オタフクソース	OTAFUKU USA, Inc 設立	OTFG	184, 227
		1		1998b	オタフクソース	オタフクソース, 名古屋お好み焼研修センター開設	OTFG	227
		2		1998c	オタフクソース	オタフクソース, 大阪お好み焼研修センター開設	OTFG	227
		3		1998d	オリバーソース	オリバーソース, 75周年リニューアルキャンペーン/コテ・どろストラッププレゼント実施	OLHP	
		7		1998e	オタフクソース	オタフクソース, 福岡お好み焼研修センター開設	OTFG	227
		10		1998f	オタフクソース	佐々木尉文, オタフクソース5代目社長に就任	OTFG	227
		10		1998g	オタフクソース	佐々木照雄, オタフクソース副会長に就任	OTFG	227
		10		1998h	オタフクソース	オタフクソース, お好み焼課発足	OTFG	188, 227
				1998i	オタフクソース	オタフクソース, 創業75周年記念誌『タコロジー』刊行	OTFG	183
				1998j	オタフクソース	オタフクソース, 第46期決算, 売上高140億3,400万円, 営業利益7億9,000万円(増収増益)だが, 主力の専用ソースは過去最低の伸び率にとどまった	OTFG	186

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
1998年	(平成10年)	11		1998k	オタフクソース	オタフクソース、第20回食品産業優良企業等表彰で農林水産大臣賞（消費者対応部門）を受賞	OTFG	227
				1998l	ソース	平成10年の焼き肉のたれの市場はおおよそ300億円だが、お好みソースや焼きそばソースはまだ100億円にも達していない	OTFG	188
				1998m	オタフクソース	オタフクソース、佐々木茂喜の提案で「団らん応援キャンペーン」実施が決定	OTFG	188
				1998n	オタフクソース	お好みフーズから「お好み焼こだわりセット」発売	OTFG	189
1999年	(平成11年)			1999a	オリバーソース	オリバーソース、「お好みソース ちょびっとどろ」,「焼そばソース ちょびっとどろ」 発売	OLHP	
		7		1999b	オタフクソース	オタフクソース、焼そば全国100万人試食キャンペーン開始（7、8月の2ヶ月間、商工センターと大和の2工場の300人余りの全社員が参加。北海道から九州まで全国各地の2,500店舗で試食を実施）	OTFG	193
		9		1999c	オリバーソース	オリバーソース、「たこやきソース」発売	OLHP	
		9		1999d	オリバーソース	オリバーソース、ISO-9001取得にむけてキックオフ宣言実施	OLHP	
		9		1999e	オリバーソース	オリバーソース、どろストラッププレゼント再開・実施	OLHP	
		10		1999f	オタフクソース	お多福醸造株式会社設立	OTFG	194, 227
2000年	(平成12年)	1		2000a	オリバーソース	オリバーソース、業務用そばめしソース発売	OLHP	
		3		2000b	オタフクソース	オタフクソース、国土庁より「地域活性化貢献企業大賞」を受賞	OTFG	227
		6		2000c	オタフクソース	OTAFUKU USA, Inc を Otafuku Foods, Inc に社名変更	OTFG	197, 228
		10		2000d	オリバーソース	オリバーソース、赤いお好みソース発売	OLHP	
		10		2000e	オタフクソース	オタフクソース、本社工場高層化第四期工事完成	OTFG	228
		10		2000f	オタフクソース	オタフクソース、岡山・お好み焼研修センター開設	OTFG	228
				2000g	オタフクソース	オタフクソース、キャラバンカー「お好み焼団らん号」活動開始	OTFG	194
		12		2000h	オリバーソース	オリバーソース、ISO-9001、業界初、取得完了（No:76988）	OLHP	
				2000i	お好み焼き	みっちゃん総本店 広島新幹線名店街店を開店	MCHP	
2001年	(平成13年)	2		2001a	オリバーソース	オリバーソース、そばめし焼そばソース家庭用、発売	OLHP	
		9		2001b	オタフクソース	オタフクソース、神戸営業所を大阪営業所に統合	OTFG	228
		10		2001c	オタフクソース	オタフクソース、環境マネジメントシステム国際規格「ISO 14001」認証取得	OTFG	197, 228
2002年	(平成14年)	3		2002a	オリバーソース	オリバーソース、お好み焼ソース「関西」、焼そばソース「関西」、発売	OLHP	
		4		2002b	オリバーソース	オリバーソース、TVCM に吉本興業漫オコンビ「シャンブーハット」起用	OLHP	
		5		2002c	オタフクソース	オタフクソース、本社工場高層化第五期工事完成	OTFG	228
		7 25		2002d	オタフクソース	オタフクソース、80周年記念誌『続オコロジー』刊行	OTFG	198
				2002e	オタフクソース	オタフクソース、『オコノミッション 世界はお好み焼を待っている！』刊行	OTFG	198
		9 30		2002f	オタフクソース	オタフクソース、お好み焼シンポジウム「お好み焼で平和だなあ。」	OTFG	198
		10 17		2002g	オタフクソース	「お多福グループ近況報告会」で第51期を「経営機能強化を図る年」として、ニューリーダーによる3本部体制となる経営人事を発表。技術生産本部長佐々木茂喜（勉の二男、前営業本部副本部長で専務）、営業本部長佐々木勝則（繁明の長男、常務）、管理本部長佐々木直義（尉文の長男、常務）。	OTFG	199
		10		2002h	オタフクソース	オタフクソース、神奈川営業所を東京営業所に統合	OTFG	228
2003年	(平成15年)	6		2003a	オリバーソース	オリバーソース、創業80周年記念としてナツメヤシ（デーツ：ソースの原料）を植樹	OLHP	

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
2003年	(平成15年)	10		2003b	オタフクソース	お多福グループ ISO9001認証取得	OTFG	228
		10		2003c	オタフクソース	オタフクソース、北関東営業所を東京営業所に統合	OTFG	228
2004年	(平成16年)	9		2004a	オリバーソース	オリバーソース、粒マスタード入りとんかつソース発売	OLHP	
		10		2004b	オタフクソース	オタフクソース、米子営業所開設	OTFG	228
2005年	(平成17年)	1		2005a	オリバーソース	オリバーソース、「オリパークライマックス十年仕込み」「ウスター・どろ2本セット」限定販売	OLHP	
		4		2005b	オタフクソース	オタフクソース、ユニオンソース(株)と業務・資本提携	OTFG	200, 228
		5		2005c	オリバーソース	オリバーソース、神戸ながた TMO と共同開発した、長田ソース発売	OLHP	
				2005d	オタフクソース	オタフクソース、出産・育児支援制度「オタフク・エンゼルプラン」開始	OTFG	202
		10		2005e	オタフクソース	佐々木茂喜、オタフクソース6代目社長就任	OTFG	202, 229
		10		2005f	オタフクソース	佐々木尉文、オタフクソース会長に就任	OTFG	229
		10		2005g	オタフクソース	佐々木照雄、オタフクソース技術顧問に就任	OTFG	229
		10		2005h	オタフクソース	佐々木繁明、オタフクソース相談役に就任	OTFG	229
		10		2005i	オタフクソース	オタフクソース、北九州営業所開設	OTFG	229
		10		2005j	オタフクソース	オタフクソース、山口営業所閉鎖	OTFG	229
2006年	(平成18年)	1		2006a	オリバーソース	オリバーソース、「オリパークライマックス3年仕込み」「ウスター・とんかつ・どろ」限定販売	OLHP	
		8		2006b	オタフクソース	オタフクソース、お好み焼士マイスター制度、初の実技試験実施	OTFG	204
		10		2006c	オタフクソース	オタフクソース、高松・お好み焼研修センター開設、営業所移転	OTFG	229
		10		2006d	オタフクソース	オタフクソース、名古屋支店開設	OTFG	229
		12		2006e	オリバーソース	オリバーソース、映画「どろろ」タイアップCM開始(平成19年2月19日終了)	OLHP	
2007年	(平成19年)	2		2007a	オリバーソース	オリバーソース、やわらかだしソース和、発売	OLHP	
		2		2007b	オリバーソース	オリバーソース、グッドデザインひょうご・食品パッケージ部門において「クライマックスヴィンテージソースセット」が食品パッケージ部門賞を受賞	OLHP	
		4		2007c	オリバーソース	オリバーソース、業務用各種ソースを家庭用容器に詰めた「プロ仕様ソース」、お好み・焼そば・たこ焼・とんかつ・中濃・ウスター6品を発売	OLHP	
		5		2007d	オタフクソース	オタフクソース、厚生労働省より子育てにやさしい企業として認定	OTFG	229
2008年	(平成20年)	3		2008a	オタフクソース	佐々木繁明(オタフクソース三代目社長)逝去(享年77歳)	OTFG	205, 229
		6		2008b	オタフクソース	オタフクソース、Wood Egg お好み焼館 オープン	OTFG	207, 230
		6		2008c	オリバーソース	オリバーソース、とんかつソース誕生60周年を記念し、復刻版とんかつソースを発売	OLHP	
		10		2008d	オタフクソース	オタフクソース、三支社制へ移行(西日本支社・近畿中部支社・東日本支社)	OTFG	230
2009年	(平成21年)	3		2009a	オタフクソース	七福株式会社、オタフクソースへ統合	OTFG	230
		8		2009b	オタフクソース	オタフクソース、仙台・お好み焼研修センター開設、営業所移転	OTFG	230
		9		2009c	オタフクソース	オタフクソース、事業所内保育園「オタフクふっくる保育園」開園	OTFG	208, 230
		10		2009d	オタフクソース	オタフクソース、持ち株会社制へ移行。持株会社お多福グループ株式会社へ商号変更	OTFG	209, 230

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
2010年	(平成22年)	1		2010a	オリバーソース	オリバーソース, 「15年仕込みクライマックスソースセット」 「ウスター・とんかつ」限定発売	OLHP	
				2010b	オタフクソース	オタフクソース, オタフクキャベツ農場で新入社員キャベツ 研修開始	OTHP	
2011年	(平成23年)	3		2011a	オリバーソース	オリバーソース, ガラスびんアワード2010において「15年仕 込みクライマックスソースセット」が「デザイン優秀賞」を 受賞	OLHP	
		3	11	2011b	社会情勢	東日本大震災		
		夏		2011c	オタフクソース	オタフクソース, Wood Egg お好み焼館 開館3周年で来館 者5万人を達成	OTFG	209
		10	7	2011d	オタフクソース	オタフクソース, 90周年記念誌『ふくがたり』刊行	OTFG	234
				2011e	お好み焼き	みっちゃん総本店リニューアル&屋台時代の味を伝えるべく、 夜の鉄板焼きメニュースタート。 昔のお好み焼屋は、定食やおつまみなどいろいろなものを提供し、 好きな物を食べるスタイルでした。屋台時代からの懐かしい味を 楽しんでもほしい…。そんな思いから、お好み焼はもちろん、お酒を 飲みながら、いろいろな料理を楽しんでもらえる店へとリニューアル しました	MCHP	
				2011f	オタフクソース	オタフクソース, 日光工場増床	OTHP	
2012年	(平成24年)			2012a	オタフクソース	オタフクソース, 東京本社ビル開設	OTHP	
2013年	(平成25年)	5	17	2013a	お好み焼き	『ミシュランガイド広島2013特別版』出版。広島県内のお好み 焼き店が24店舗掲載される。ミシュランガイドへのお好み 焼き店掲載は、初めて		
				2013b	オタフクソース	オタフクソース, 経済産業省「おもてなし経営企業」に選出	OTHP	
				2013c	オタフクソース	オタフクソース, 中国に青島工場完成, 稼働	OTHP	
				2013d	オタフクソース	オタフクソース, アメリカにロサンゼルス工場完成, 稼働	OTHP	
2014年	(平成26年)			2014a	お好み焼き	一般財団法人お好み焼アカデミー設立	OTHP	
				2014b	オタフクソース	オタフクソース本社に社員食堂「○(まる)キ食堂」開設	OTHP	
				2014c	オタフクソース	オタフクソース, 本社工場と大和工場 FSSC22000取得	OTHP	
2015年	(平成27年)			2015a	オタフクソース	オタフクソース, R&D センター WillEgg 開設	OTHP	
				2015b	オタフクソース	オタフクソース, 日光工場 ISO9001取得	OTHP	
2016年	(平成28年)	4		2016a	オタフクソース	オタフクソース, 合弁会社 OTAFUKU SAUCE MALAYSIA SDN. BHD. 設立	OTHP	
		8		2016b	オタフクソース	オタフクソース, マレーシア工場稼働	OTHP	
				2016c	オタフクソース	オタフクソース, 女性活躍推進「えるぼし」企業認定(厚生 労働省)	OTHP	
				2016d	オタフクソース	オタフクソース, OPP 株式会社設立	OTHP	
2017年	(平成29年)	3	1	2017a	オタフクソース	オタフクソース, マレーシア製品, ハラル認証取得	OTHP	
				2017b	オタフクソース	オタフクソース, 初の直営店「Vege Love it! ベジラビット」 広島市西区 LECT (レクト) 内に開店	OTHP	
2018年	(平成30年)	4		2018a	お好み焼き	『ミシュランガイド広島・愛媛2018』出版。お好み焼き店16 店舗掲載		
		5		2018b	お好み焼き	広島市による「広島市来訪観光客アンケート調査結果」で、 82.09%の回答者がお好み焼きを食べたと回答		
				2018c	オタフクソース	オタフクソース, 本社工場に BIB 自動充填設備導入	OTHP	
				2018d	オタフクソース	お多福グループ社員研修・福利厚生施設「清倫館」開設	OTHP	
				2018e	オタフクソース	オタフクソース, 台湾に「台北支店」開設	OTHP	
				2018f	オタフクソース	オタフクソース, 広島駅にお好み焼体験スタジオ「OKOSTA」 開店	OTHP	
				2018g	オタフクソース	オタフクソース, 阪急うめだ本店に「oh!!sauce」開店	OTHP	
2019年	(平成31年) (令和元年)			2019a	オタフクソース	オタフクソース, コーポレートスローガン「小さな幸せを、 地球の幸せに。」策定	OTHP	

西暦	和暦	月	日	ID	カテゴリー	事 項	出典	頁
2019年	(平成31年) (令和元年)			2019b	オタフクソース	オタフクソース、本社工場東棟に「お好みフーズ本社工場」新設	OTHP	
				2019c	オタフクソース	オタフクソース、「第2回ハラールフードアワード(ソース、調味料部門)」最優秀賞受賞(プレミアム・フードショー実行委員会)	OTHP	
				2019d	オタフクソース	オタフクソース、本社工場に「マルチライン」導入	OTHP	
2020年	(令和2年)	3	13	2020a	社会情勢	新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律(新型コロナ特措法)成立(2020.3.14施行)		
		4	7	2020b	社会情勢	新型コロナウイルス感染症対策として、初めての緊急事態宣言が7都道府県(東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡)に発出。(2020.4.16に対象地域を全国に拡大)		
				2020c	オタフクソース	オタフクソース、「デーツなつめやしの実」リニューアル発売	OTHP	
				2020d	オタフクソース	オタフクソース、第5回日本ベジタリアンアワード企業賞受賞	OTHP	
				2020e	オタフクソース	オタフクソース、第59回ジャパンパッケージングコンペティション(有機お好みソース=外国人向け商品部門賞、タコスセット・バインセオセット=中華・エスニック食品部門賞)受賞	OTHP	
2021年	(令和3年)			2021a	オタフクソース	オタフクソース株式会社はユニオンソース株式会社と合併	OTHP	
				2021b	オタフクソース	オタフクソース、農林水産省主催「食かけるプライズ2020」にて「食かける大賞」受賞	OTHP	
				2021c	オタフクソース	オタフクソース、「株式会社ナカガワ」をグループ化	OTHP	
2022年	(令和4年)			2022a	オタフクソース	オタフクソース、第12回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞にて、経済産業大臣賞を受賞	OTHP	
				2022b	オタフクソース	オタフクソース、おやさい食堂「Vege Love it!」が、おやさい焼そば専門店「Vege Love it!」へリニューアル	OTHP	
				2020c	オタフクソース	オタフクソース、創業100周年	OTHP	

参 考 文 献

- Hobsbawm, Eric and Terence Ranger (1983), *The Invention of Tradition*, The Press of University of Cambridge, Cambridge, U.K. (前川啓治ほか訳 (1992)『創られた伝統』紀伊国屋書店)
- Ritzer, George. (1996), *The McDonaldization of Society (rev. ed.)*. Pine Forge Press. (正岡寛司監訳 (1999)『マクドナルド化する社会』早稲田大学出版部)
- 石毛直道 (1982)『食事の文明論』中央公論社
- オタフクソース株式会社編 (2011)『ふくがたり：一滴一滴に、性根を入れて(第一版)』オタフクソース株式会社
- オタフクソース株式会社編 (2023)『ふくがたり：一滴一滴に、性根を入れて(第四版)』オタフクソース株式会社
- 広島経済大学地域経済研究所 (2003)「お好み焼き業界におけるコロナ禍、物価高等の影響に関する実態調査報告書：2020年度～2022年度」広島経済大学地域経済研究所報告書第12号

- 広島市経済観光局観光政策部 (2019)「Ⅳ 広島市来訪観光客アンケート調査結果」『平成31年版 広島市観光概況(平成30年データ)』広島市経済観光局観光政策部 (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/107320.pdf>)
- 細井謙一 (2021)「コロナ禍における広島市お好み焼き店の業績の現状と地域格差：宴会対応型名物化ビジネスモデルの逆機能化」『広島経済大学経済研究論集』第43巻第3号、95-106ページ
- 細井謙一・金丸輝康・竹村正明 (2022a)「アフターコロナ禍におけるお好み焼き店の業績回復戦略の課題」『広島経済大学経済研究論集』第45巻第1号、1-15ページ
- 細井謙一・金丸輝康・竹村正明 (2022b)「地域食堂の地域社会統合効果：アフターコロナ禍共食回復戦略」『広島経済大学経済研究論集』第45巻第2号、29-43ページ
- 細井謙一・金丸輝康・竹村正明 (2023)「アフターコロナ禍におけるお好み焼き店の共食回復類型」『広島経済大学経済研究論集』第45巻第3号、19-32ページ